

岩手日報応援号外

バスケットボール女子で7年ぶりの優勝を果たした一関学院



一関学院7年ぶりV

県高総体 バスケットボール女子

第77回県高校総体のバスケットボール女子は1日、奥州市総合体育館で行われ、一関学院が7年ぶり8度目の優勝を飾った。

一関学院は準決勝で水沢に91-45と快勝し、決勝は盛岡白百合学園と対戦した。10点差を追う後半にF石塚宙(1年)らの得点で反撃。73-75からF伊藤伶奈主将(3年)の3点シュートで逆転すると、その後はフリースローで着実に加点し、80-78で接戦を制した。

1月の県新人を6年ぶりに制し、追われる立場から栄冠をつかんだ。山田繁監督は「四苦八苦しながらだったが、よく我慢してやってくれた」とたたえた。

「やってきたことを信じて戦った。最高です」と伊藤主将。全国に向け「走るバスケットボールで勝利したい」と決意を新たにしたい。